



日本ポニーベースボール協会は「PONY」の頭文字に込められた「我々の国家の宝である青少年の成長を守ろう(Protect Our Nation's Youth)」の理念の下、2019年に「スーパーポニーアクション」、20年に「スーパードラフト1位でヤクルト入団。92、93年のリーグ連覇に貢献。91、93年には打点王獲得。94年オフにFA宣言して巨人へ移籍。2000年から阪神に移り03年引退。外野手としてベストナイン4回、オールスター8回出場。通算成績は18993試合、1736安打、306本塁打、2割7分5厘。15209三振は歴代4位。1855、99、右投げ右打ち。明大4年の84年サンゼルス五輪では日本代表として金メダル獲得に貢献した。18年3月から一般社団法人日本ポニーベースボール協会理事長。

野球伝来150年「ポニー」前進の年にするため知恵絞る

東西日本大会を8月に新設 3年ぶりに日本代表選考大会をせひ

野球は試合で覚える

1872年、米国人教師のホレス・ウィルソンが第一学区第一番中学の学生たちにベースボールを教えたのが、日本野球の始まりと伝えられている。2022年はそれからちょうど150年という節目の年になる。広澤理事長は「日本野球にとって節目となる大事な年です。ポニーにとってさらなる前進の1年にするために、知恵を絞っていききたい」と力を込める。

選手たちの成長を見守りながら、お金のからない硬式野球の実現を目指すという方針のもと、同協会は19年にスーパーポニーアクション、20年にスーパードラフト1位でヤクルト入団する柴田大地投手は中学時代、羽田アンビシャスでプレーした。中学時代指導した武島信幸監督(55)は「明るくてチームを盛り上げるタイプ。時には調子に乗りすぎて『コ

広澤克実理事長語る



した。公式戦の機会をさらに増やすべく、今年は8月11日から4日間、新たに東日本大会、西日本大会を開催する。広澤理事長は「『野球は試合に出て覚えよう』というのがポニーのコンセプトの1つ。選手たちの成長のチャン

を増やしたい」と大会新設の狙いを説明する。昨年8月に東北連盟が誕生し、北東北地区に団体が増えていることから、北海道・北東北大会も新設する予定だ。

コロナ禍のため20、21年と開催することができなかった

今年には野球が伝来して150年。「ポニーにとっても節目の年。さらなる前進をするため、知恵を絞っていききたい」と語る広澤理事長

福島の復興支援活動

震災被災地復興支援活動への強い思いを持っている。原発事故の被災地域には、整備の行き届いていない野球場がいくつかある。そうした野球場、グラウンドをポニーリーグのチームの手で整備し、将来的にはそこで国際大会を開催しようと考えている。

広澤克実杯・日本代表選考大会を、今年は5月の大型連休中に宮城県で開催する。「感染収束が見えていない現時点で、国際大会の可否は判断できない。それでも選手にとってジャパンのユニホームを着ることは大きな目標。今年は何とか大会を実施して日本代表を選びたい」と、自身の名前を冠した日本代表選考大会開催に意欲を見せる。

「野球を通じての人間形成が一番大事だと私は考えています。復興支援のお手伝いをし、自分たちの手で整備した野球場でプレーする。そこから何かを感じてほしい。彼らの将来にとって大きな経験になると思います。簡単に実現できることではないけれど、まず今年、その第一歩を踏み出せるような年にしたい」と力強く語った。野球伝来から150年という節目の年に、ポニーはまた大きな一歩を踏み出す。

柴田大地

羽田アンビシャス武島監督がエール

西武平良海馬投手(八重山ポニー)、オリックス宮城大弥投手(宜野湾ポニー)らに続けと、今年もポニー出身選手が新たにNPB入りする。ドラフト3位でヤクルトへ入団する柴田大地投手は中学時代、羽田アンビシャスでプレーした。中学時代指導した武島信幸監督(55)は「明るくてチームを盛り上げるタイプ。時には調子に乗りすぎて『コ

ラッソ』って言うこともありましたよ」と当時のことを話してくれた。

それでも高い素質を評価され、社会人野球の強豪・日本通運へ進む。入社1年目にトミー・ジョン手術を受けリハビリに励んだ。2年目の昨春から再び投げ始め、夏場のオープン戦で156km/hをマークし、ドラフト候補として注目を浴びるようになった。

武島監督は「ケガをして野球を諦めてしまう選手が多

多量の中、柴田は本当によく頑張ったと思う。プロは厳しい世界だけれど、社会人を経ての3位指名だから、即戦力の期待をされているはず。成功を勝ち取ってほしい」とエールを送る。



昨年12月6日、ヤクルトと仮契約した柴田(都内日通本社で、代表撮影)



柴田大地(しばた・だいち)1997年(平9)11月7日生まれ。東京都出身。右投げ右打ち。東横谷小3年の時から東横谷イーグルスで野球を始める。都谷中では羽田アンビシャスでプレー。日体大在学中

2022年度関東連盟の主な予定		2022年度日本ポニーベースボール協会主な大会日程	
予定	日程	大会	日程
監督会総会・指導者講習会	1月29日	日本旅行カップ第6回全日本選抜中学野球選手権	3月26~28日
専属審判員審判講習会	1月30日	関東地区ポニーフェスタ(大倉グループ協賛)	5月1日
東・南審判講習会	2月6日	東北地区ポニーフェスタ(射撃部など(マルハングループ協賛)	//
西審判講習会	2月11日	マルハングループインビテーション広澤克実杯	5月4、5日
キリンビバレッジカップ	2月27日	全日本地域対抗兼ポニー日本代表選考大会	5月7、8日
第46回春季大会	2月27日	マルハングループインビテーション広澤克実杯	5月7、8日
AP関東選抜選手選考会(ブロック対抗戦)	4月18日	全日本地域対抗兼コルト日本代表選考大会	5月7、8日
APブロック選手選考会(ブロック対抗戦)	4月29日	マルハングループインビテーション大倉杯	7月23~27日
ポニーフェスタ	5月1日	パロミノの部ワールドシリーズ(米テキサス州)	7月31~8月2日
ベースボールクリニック	5月15日	コロンの部ワールドシリーズ(//)	//
関東連盟1年生大会	5月15日	コルトの部ワールドシリーズ(米イリノイ州)	//
グランドチャンピオンシップ	//	日米親善交流大会(大倉グループ協賛)	8月7~17日
トナメント関東予選	//	マルハンカップ東日本大会	8月11~14日
ジャパンゼネラルカップ	//	太倉杯西日本大会	//
関東連盟長杯大会	//	マルハンカップ北海道・北東北大会	8月20、21日
ジャイアンツカップ都・県予選	5~7月	ポニーの部ワールドシリーズ(米ベンジルベニア州)	8月13~19日
SSKカップ第46回秋季大会	8月28日	第13回全日本中学野球選手権(ジャイアンツ杯)	8月15~20日
SSKカップ第26回コルト選手権	8月28日	ブライドジャパンカップ第12回PONYジャパン	9月17~19日
		グランドチャンピオンシップトナメント	9月17~19日
		マルハンカップ東日本コルト選手権	11月12、13日
		SSKカップ3団体交流戦(ポニー・リトルシニア・ポイズ)	11月20日~

[注]試合会場は1月中旬に決定。HPで発表